

わくわく田底っ子

第21号

文責：校長 益永 一幸

田底小「メディアルール」を作ろう～校則見つめ直し～

今年度の校則の見つめ直しは、「田底小学校のくらし」には記載されていない、現代的な課題である「メディアリテラシー」「情報モラル」というテーマを、みんなで考え、みんなで実践化していく「メディアルール」を作ろうと思っています。今後、なかよし運営委員会が中心となって進めていきます。

10月学校集会「校則見つめ直し」校長の話 題：田底小のメディアルールを作ろう

今日の皆さんは「思いやりのある行動」がとれています。みんなが集まる時は、静かに集まっています。これは、思いやりのある行動です。みんなが集まる時は静かに集まるというルールがありますね。ルールを守ることが思いやりになります。

1学期の学校保健委員会では、「メディアと上手に付き合おう」というテーマでメディアの使い方について考えました。そして、自分のメディアの使い方の目標を決めて夏休みや2学期も実践し振り返りもしているところです。

ところで、メディアを使いすぎたり、使い方が悪かったりすると、どのような変化が起こるかということ、

- ・視力が低下する
- ・体力が落ちる
- ・夜眠れなくなる
- ・やる気がなくなる



- ・いやな書き込みをしたりされたりする
- ・ゲームでお金のトラブルになることもある



こんなことにならないように、今度の校則見つめ直しでは「田底小のメディアの使い方のルール」を考えることにします。

今度の校則見つめ直しについては、メディアの使い方について、次の2つの視点でメディアルールのアイデアを考えてほしいです。

①自分を大切にするメディアルール

「心」と「体」と「頭」が元気で、気持ちよく生活できるルールを考えてください。

②他の人を大切にするメディアルール

家族を含め、他の人に迷惑をかけないルールを考えてください。

みんなでメディアの使い方のルールを決めて、みんながメディアと上手に付き合うことができるような田底小学校になってほしいです。